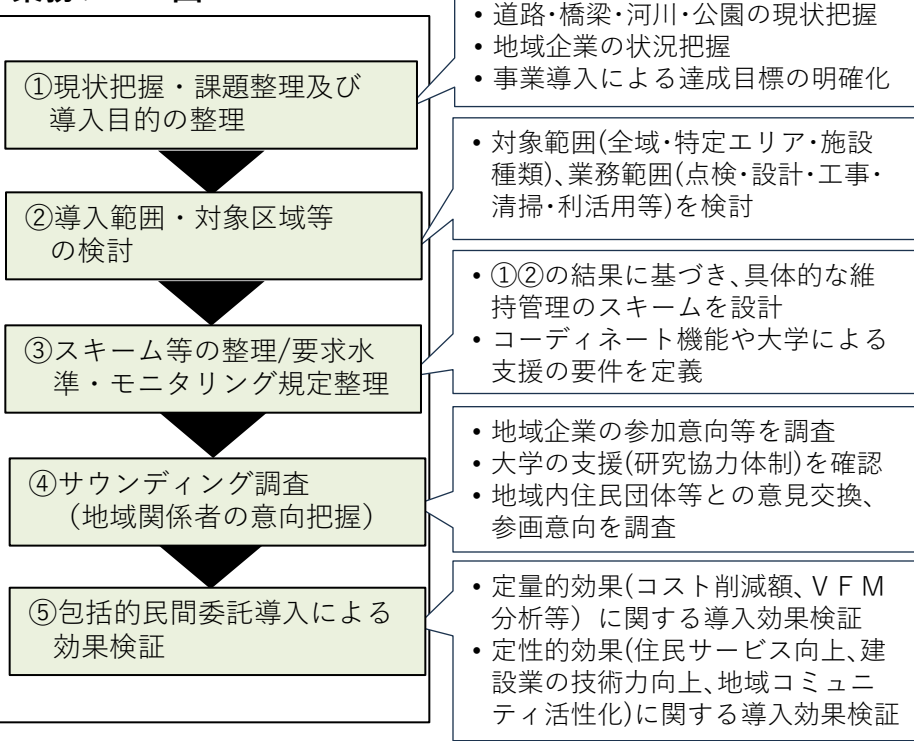


調査目的・概要

- ◆豊能町では厳しい財政状況と土木職員が不足するなか、道路・橋梁等の老朽化や公園の維持管理や利活用などへの対応が求められている。
- ◆本調査では、地域特性に対応した持続可能な維持管理体制の構築を図るため、分野横断型の包括的民間委託導入に係る検討を行うことを目的とする。
- ◆検討にあたっては、行政・住民・企業・大学による「共創の場」を形成することにより、地域力を結集した持続可能で効率的な地域協働型のインフラ維持管理体制の構築を目指す。

調査内容・スケジュール

業務フロー図



【検討のポイント】

- ◆**コーディネート機能**：求められる機能要件、機能の担い手に対する要件、事業としての成立可能性
- ◆**地域企業**：地域企業の将来性に繋がる包括的民間委託の範囲と内容
- ◆**住民**：インフラ維持管理活動への主体的な参加意識の醸成手法
- ◆**大学**：保有する知見や技術の活用、共創における大学の役割

【先導性】

- ◆**地域課題解決のための共創の場形成**
今後の様々な地域課題解決に対する「基盤」として発展可能
- ◆**小規模橋梁に特化した点検手法の導入**
大阪大学が開発した効率的、低コストな点検手法(基本定期点検)の導入は全国に先駆ける先進事例

調査内容	6月	8月	10月	12月	2月
①現状把握・課題整理及び導入目的の整理	→				
②導入範囲・対象区域等の検討		→			
③スキーム等の整理/要求水準・モニタリング規定整理		→			
④サウンディング調査(民間事業者の意向把握)			→		
⑤包括的民間委託導入による効果検証					→

令和8年度 先導的官民連携支援事業

☑事業手法検討支援型

□情報整備等支援型

【テーマ①】官産民学「共創の場形成」による地域協働型維持管理体制の構築可能性調査

【調査主体】大阪府豊能町(人口1.7万人)

事業・施設の概要

【大阪府豊能郡豊能町】

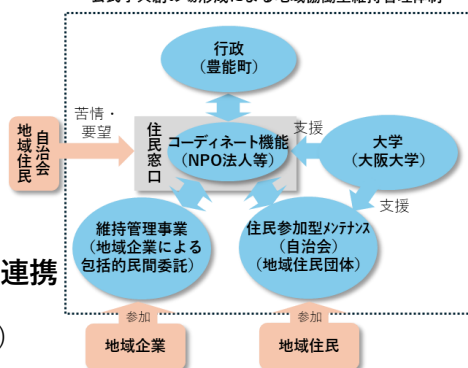
- ◆人口：17,465人（令和8年1月現在）
- ◆面積：34.37km²
- ◆財政力指数：0.39（令和6年度）
- ◆土木職員数：3人（関連施設担当）
- ◆施設概要：道路（約147km）、橋梁（71橋）、河川（5河川(準用河川等)）、公園（42施設）



【事業の概要（目指す姿）】

インフラ維持管理に関する多くの課題は、行政単独での解決が困難な状況にある。これを打破するため、行政・企業・住民・大学による「共創の場を形成」し、地域力を結集した持続可能で効率的な地域協働型インフラ維持管理体制の構築を目指す。

公民学共創の場形成による地域協働型維持管理体制



①コーディネート機能の創設

大阪大学の支援を受け、住民窓口の一元化や地域ステークホルダー間調整、インフラ維持管理の効果的マネジメント、さらには地域課題解決等を第三者視点でコーディネート可能な機能を創設する。

②包括的民間委託と住民活動の連携

包括的民間委託事業（地域企業）と住民活動（ボランティア、自治会）との連携、さらには地域通貨によるインセンティブ付与等の取組み等を通じて、インフラ維持管理に対する住民の主体的な参加意識を醸成する。

③あらたな点検手法の導入

大阪大学が開発した小規模橋梁特化型の点検手法（橋梁基本定期点検）を導入し、点検のコスト縮減とともに、地域企業を対象とした点検の担い手を育成する。

事業・施設の課題

【課題①】「あらたな維持管理体制」の構築

インフラの点検・維持管理費用が財政的に大きな負担であり、除草作業等も滞りがち。低利用率公園の活用も課題。町事業のみによる維持管理体制には限界を感じつつあるが、地域内連携は関係者間の利害も絡み調整が難しい。住民や自治会を巻き込んだ「あらたな維持管理体制」の構築が必要。

【課題②】町内企業への安定的な事業供給

事業供給不足のため、継続的な地域企業の存続が懸念される。災害時対応の担い手確保のためにも町内企業への安定的な事業供給が求められる。

【課題③】維持管理業務の効率化とコスト縮減

財政が厳しさを増す中、十分なインフラ予算が確保困難に。また、地域の高齢化が進み、自治会など住民の自主的な維持管理作業も衰退しつつある。このため、維持管理業務の効率化とコスト縮減が必要。

検討経緯／事業化スケジュール

年度	事業ステップ	地域協働型インフラ維持管理体制の構築
2026	<ul style="list-style-type: none"> 可能性調査業務（補助事業）の実施 地域のステークホルダ（町、地域企業、住民団体）による協議体設置 	事業スキーム検討 / 地域の合意形成
2027	<ul style="list-style-type: none"> コーディネート機能の試行的運用 現行の包括維持管理事業への橋梁基本定期点検導入 包括的民間委託事業（道路・河川・公園）の発注準備 	部分的試行（コーディネート機能）（包括維持管理） / 住民団体との連携試行
2028	<ul style="list-style-type: none"> 第1期包括的民間委託事業（道路・河川・公園）の発注（3年間契約） 	包括的民間委託の1 st ステップ準備 / 住民団体との本格連携
2029		
2030	<ul style="list-style-type: none"> 包括的民間委託事業の拡張検討（対象、期間） 	包括的民間委託の2 nd ステップ準備
2031	<ul style="list-style-type: none"> 第2期包括的民間委託事業の発注（5年間契約） 	地域協働型インフラ維持管理体制 / 第2期包括的民間委託事業の開始 / 住民団体との連携高度化

インフラ維持管理意識の醸成
地域住民の住民による